



## 「自立ということ」

満開の桜木が花びらを散らしこれから瑞々しい葉桜に、次の新しい姿へと進んでいきます。令和8年度の学校生活が始まりました。新入生も在校生もこれから学校生活において、新しい歩みを進めて一つひとつの学びを重ねていきます。始業式、入学式からわずか一週間が経つ頃には、すでに最初の一日目とは全く違う姿があります。このことは児童生徒のみなさん一人ひとりがたくさんの可能性を持っていることの現れだと思えます。その可能性を広げていく大切な要素として自立があります。この自立という言葉の意味は広く、いろいろなところでつかわれる言葉ですが、「他者に頼らず自分一人の力で成す」ということではありません。もちろん自分だけの力で何がどこまでできるかということも大切なことではありますが、自分で感じたこと、思ったこと、考えたことを行動に移す。時には誰かと一緒に行動する。また時には他者の助力を適切に受けつつ、試みようという自分の気持ちが土台にあります。つまり、「やってみよう」「がんばってみよう」「もう一度やってみよう」という試みの気持ちがあればそこから自立は始まります。自立はゴールではなくずっと続けていくことだと思えます。おそらく、新しい生活が始まって数日の間においても、小さな試みも大きな試みもたくさんあったと思えます。そしてきっとこれからも。一人ひとりの可能性の大きさに期待ばかりが膨らみます。職員一同、安全・安心な学校を第一に、児童生徒みなさんと共に学び、児童生徒の皆さんの学びと成長のために精一杯取り組んで参ります。

校長 長谷川 智一



副校長 松本

校長 長谷川

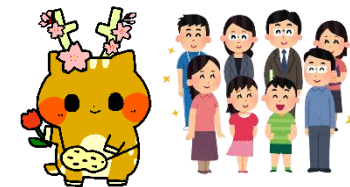
教頭 江口

教頭 相原

ご入学・ご進級おめでとうございます。春のやわらかな日差しの中新しい一年がスタートしました。新入生の皆さんはこれから始まる生活への期待と、新しい環境に少しドキドキされている方も多いのではないのでしょうか。在校生の皆さんも学年が一つ上がり、新たな目標や役割に向かって歩み始めました。

学校では、「こんなことができた」「自分からやってみようとした」そんな小さな一歩を大切に、子どもたちの自信につなげていきたいと考えています。

今年度も児童生徒が地域の一員として学び、経験を重ねることで、自分の可能性をきりひらいていけるような学習活動を行っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



カリキュラムグループ

進級、入学おめでとうございます。

中学部が、末広校舎から落合校舎に移転してきました。2・3年生計8名に加え、1年生が新たに5名入学し、計13名でのスタートとなりました。環境が大きく変わりましたが、生徒の皆さんは、日々を過ごす中で、少しずつ慣れていって欲しいと思います。また、同じフロアには、高等部の先輩もいます。良い手本を見て、授業等で関わりたいしながら、ステップアップしてほしいと思います。落合校舎での給食も始まり、皆さん毎日楽しみにしています。



E 中学部【知的障害教育部門】